

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年4月4日

【評価実施概要】

事業所番号	0172901514		
法人名	有限会社 神居寿々蘭の里		
事業所名	グループホーム「喜」		
所在地	北海道旭川市高砂台8丁目3番10号 (電話) 0166-69-2511		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成20年3月27日	評価確定日	平成20年4月18日

【情報提供票より】(平成20年3月19日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)16年 3月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	19 人	常勤	18人, 非常勤 1人, 常勤換算 7人

(2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	2階建ての	1~2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	28,000 円	その他の経費(月額)	13,700~19,700 円
敷金	有(円)	無	
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	400 円	昼食 400 円
	夕食	400 円	おやつ 100 円
	または1日当たり		1,300 円

(4) 利用者の概要(3月19日現在)

利用者人数	18名	男性	4名	女性	14名
要介護1	8名	要介護2	2名		
要介護3	3名	要介護4	1名		
要介護5	3名	要支援2	1名		
年齢	平均 84.7歳	最低	75歳	最高	94歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	旭川高砂台病院・佐野病院・今宮歯科医院
---------	---------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

市街地を一望できる高台にあり、自然な陽光が差し込んでいる。テラスやリビングからのロケーションは素晴らしく、四季の移り変わりを感じられる。「個性を活かし、穏やかな安らぎのある生活」を理念として家族との絆を大切にしたい運営がされている。食事については運営者が市場の新鮮で旬な野菜などを仕入れ、調理のエキスパートが入居者に食事を楽しんでもらえるような工夫がされています。昨年の6月に施設長をはじめ、新しい体制になって間もないが利用者本位の改善に向け進んでいます。また、施設長の柔軟な姿勢により職員との信頼関係が構築されており、それにより職員のケアの質が高まり、利用者の表情の明るさにも反映され、親しみやすいホームとなっています。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の評価では認知症の理解を深める為、家族向けの研修や教室の開催があげられていました。新体制の整備と日々の業務など真摯に改善も進められていますが、実施にはもう少し時間がかかるように思えます。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	現スタッフの下では自己評価の取り組みが初めてであり、また時間が取れなかったこともあり全体化されているとは言えません。今回の外部評価の結果については全体会議で報告され、改善の機会として取り組むことになっています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	新しい体制になって環境の整備に時間がかかり、2カ月に一回の実施とはなり得ていません。現在、運営推進委員のメンバーの増員や内容を検討されており、今後は市などの協力を得ながら地域住民と更なる連携の姿勢がうかがえます。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	行事の案内や暮らしぶりなどが家族に報告されています。現在「たより」を定期的に発行し、職員の紹介や運営推進会議の内容なども家族に報告し、意見や要望が言いやすい雰囲気づくりに日々取り組まれる姿勢が見られます。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	温泉旅館やゴルフ練習場が所在しているため、地域的に難しい面もありますが、将棋やマージャンなどのボランティアによる協力が得られ、盆踊りやホームの祭りなど行事の参加を通じて地域住民との親しみのある、より良い交流に努めています。

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「感謝の気持ちで長寿のお手伝いを」など三つの独自の理念を基本にその意味を理解し、入居者が快適に過ごせるよう四つの運営方針に沿って業務に臨んでいます。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ホームの理念は分かりやすく、玄関やホールなどの見やすい場所に掲示されており職員が申し送り時に唱和することでより意識が高められ、実践に向けた取り組みが見られます。		日常のケアを検証するなどして職員間で理念の意義や役割を浸透するための取り組みが期待されます。
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会の総会をはじめ廃品回収などで町内会や地域活動に参加し、また「喜まつり」・「盆踊り」などには町内、地域の方々に参加していただくなどして地元の人々との交流に努めています。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	施設長、管理者は自己評価及び外部評価を実施することの意義を理解するべく方向に向け、現在それらのことを踏まえて具体的な改善に取り組んでいます。		今後は管理者が率先し、自己評価及び外部評価の意義をより理解し、全職員と共に評価を活かした取り組みの実践を期待します。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営体制変更後には一回の運営推進会議が町内会長・家族会会長・民生委員・市民委員会・スタッフの参加により開催され、ホームの概要説明、新しく赴任した職員の自己紹介をはじめ意見交換等も行われています。		今後においても定期的な運営推進会議の開催で、より幅広い人々の召集で具体的な内容について話し合いを行い、サービスの向上に活かしていくことが望まれます。
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	施設長は市の各担当者と疑問点や情報の収集を行い、意見や指導も受けるなど積極的にサービスの質に繋げるよう取り組んでいます。		市との連携の重要性を踏まえ、更にサービスの質の向上を検討していくことが望まれます。
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	日常の様子や健康状態については面会時に職員からの報告があり、緊急な事態においては都度迅速な対応が行われています。		今後は定期的に「たより」の発行が望まれ、職員の紹介や運営推進会議の内容など家族に報告していくことに期待します。
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関入ホールには「投書箱」が設置され、苦情・不満・要望など、それらを表せる機会が設けられています。また家族が面会に訪れた時には話してもらえる雰囲気づくりがなされ、意見等には迅速に対応し改善に努めるなど運営に反映させています。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	新体制の施設長は職員の離職者を出さないよう働きやすい環境づくりに努め、また異動などで入居者へダメージを与えないように配慮する取り組みをしています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	申し送りや全体会議などで外部研修の参加を奨励されています。		職員がチャレンジ目標を立てるなどして、個々のスキルアップにつながる研修に積極的な参加が望まれます。
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	ケア研究会にも加入し、同業者との交流の機会をつくりケアサービスの質を高めていく取り組みがされています。		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	家族から可能な限り情報を収集し、また利用者・家族に見学してもらい不安を解消するなどの取り組みがなされています。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は利用者の過去の生活歴の中から日常生活を通して本人から多くを学び、共に支え合う関係を築いています。		認知症ケアに有効な研修や勉強会等で更にスキルアップされることを期待します。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1.一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	一人ひとりの思いや希望を職員間で共有し、編み物や草花の管理など趣味の支援に取り組んでいます。		
<b>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	入居者の生活歴を本人・家族から聞き、本人の思いや希望に沿うよう職員と相談し、ケアプランに反映された支援がなされています。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	随時を含めて心身の状態変化を察しケアプランの見直しを図り、医療面での留意事項があった際にも医師と話し合い、現状に即した介護計画を作成しています。		個人毎のファイルに見やすくまとめることで、必要時の確認やプランの見直しもスムーズに行われるような工夫が望まれます。
<b>3.多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	可能な限り、通院の支援や買い物など柔軟に行われています。また空きスペースを地域のカラオケサークルに開放するなどもされています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	かかりつけの主治医との連携ができており、健康管理の指導を受けるなど医療面での支援も行われています。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について入居時に利用者・家族の意向を確認し、かかりつけ医と相談されています。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりの尊厳やプライバシーを尊重しており、職員が居室に入る場合には必ずノックし、名前を言ってから了解を取るなど声かけにも配慮が見られます。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの気持ちを大切にしており、買い物や散策など利用者の希望に沿った支援に努めています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理のエキスパートを配置し多種にわたる食材を使い、味と見た目を大切に、更に食品群一覧表を使いながら栄養のバランスを考えており、食事も和やかな雰囲気が漂っています。		個々の食事量・塩分・カロリー・バランスが利用者の状態に応じた内容になっており適切な支援がされています。
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的には週2回となっているが、利用者の体調への配慮や希望する時間帯に入浴できるよう柔軟に対応されています。		重度化した利用者も浴槽に浸かれ、入浴が楽しめるよう職員の入浴支援に対するスキルアップが期待されます。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	週一回のボランティアとマージャンをしたり、カラオケサークルの歌を聴きに行ったり、鉢植えの手入れなど気晴らしの機会が作られています。		冬期間の外出頻度が少ないと思われますので、今後は近隣にある社会資源などの活用で外出の機会を増やすことが望まれます。
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者の好みに応じ、ホームの大庭園の散策や買い物と一緒にするなど心身のリフレッシュや気分転換ができるような外出の支援がされています。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関は建物の構造上、やむなく鍵を掛けています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<b>災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回の避難訓練も実施しており、防火扉や非常通報設置するなど、機器の整備にも配慮されています。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<b>栄養摂取や水分確保の支援</b> 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事、水分量においては確認の記録もされており、調理のエキスパートが栄養のバランスについても適切な支援を行われています。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<b>居心地のよい共用空間づくり</b> 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	家庭的な空間の中で、利用者と職員がゆったりとした時間を過ごしています。居間には広いスペースの窓から見渡せる風景が季節感を十分に感じられるものとなっています。		
30	83	<b>居心地よく過ごせる居室の配慮</b> 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ゆったりとした居室で、使い慣れた家具の持込は自在とされており、個性的で自宅の延長の場となれるような工夫がされています。		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。